

岩井まさお 通信 未来

平成30年10月号 第18号

発行責任者：岩井まさお 〒262-0013 千葉市花見川区横橋町 1458-1 TEL. 043-259-2777 FAX. 043-259-2777



皆さん、おはようございます。
自由民主党千葉市議会議員団の岩井雅夫でございます。
9月6日未明に北海道胆振地方を震源とする地震では多くの尊い命が奪われるとともに、住家等を持った方々も多数おられます。あらためて、ご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。
それでは、通告に従い質疑を行います。

平成30年 第3回定例会報告

平成30年 第3回定例会（9月14日）に於いて、代表質疑をさせて頂きました。この代表質疑を通じ、問題点の指摘を含め質問として要望させて頂いたことを、主な内容や市の答弁と共に、Q&Aにして、ご報告いたします。

市政運営の基本姿勢について

平成29年度決算と平成30年度の収支見通しについて

●平成29年度決算の評価について

市長答弁（財政局財政部財政課）
A 一般会計の実質収支は、歳入にて市税や地方消費税交付金が増収となったことや歳出も効率的な予算執行に努めたことから、31億5,200万円の黒字を確保したところです。19年度から発生していた国民健康保険事業の累積赤字を11年ぶりに解消。実質公債費比率及び将来負担比率が引き続き低下し13年ぶりに全会計市債残高が1兆円を下回るなど、財政健全化に向けた取組みの効果が表れた決算であると考えております。病院事業の累積赤字や各種基金からの借入残高などの債務が多額で改善に努める必要があるほか健全化判断比率も将来負担が過大なものとなるなど、引き続き財政健全化に向けた取組みを進めてまいります。

●小中学校の普通教室へのエアコン設置について

●小中学校の普通教室へのエアコン設置の考え方及び今後の進め方について

市長答弁（教育委員会教育総務部学校施設課）
A 昨今の猛暑や文部科学省が示している学校環境衛生基準における望ましい教室内の温度が28度以下に見直されたこと、保護者等からエアコン設置に関して多数要望が寄せられていること、7月26日に開催された千葉市学校教育審議会にて「エアコン設置について早急に対応して欲しい」との意見がまとめられたこと等を総合的に判断し、小中学校の普通教室への2020年度での設置完了を目指し検討を行っています。今年度や課題、連用状況の調査のほか直接施工やリース方式等の事業手法別の

概算事業費の算出等の基礎調査を10月末を目途に行っております。調査結果を踏まえ必要な事業費や財源、地元事業者の育成、設置に要する期間等から最適な事業手法を見極め、年度内にエアコン整備に係る基本計画を策定し、補正予算措置を急ぎに置き、できる限り早期に普通教室へのエアコン整備に着手したいと考えております。

●エアコン設置に係る財源の確保について

市長答弁

市長答弁（教育委員会教育総務部学校施設課）
A 主要財源として、国の学校施設環境改善交付金が充当でき積極的に活用を図って参りたいと考えております。本交付金は補助単価が実勢価格と大幅に乖離していることやリース方式は補助対象外となることから、エアコン設置を確実にするため国に對しこれを拡充するよう要望を行うとともに、今後の国の補正予算等の動向を注視して参ります。多くの市民の皆様から「エアコン設置やランニングコストに充当するための寄付のお申し出をいただいていること」が寄付の受入れや活用について可能性を検討するなど、必要な財源の確保に努めて参ります。

財政について

●これまでの取組みと、特に防災面について、どのような新庁舎を整備しようとしているのか

●新庁舎整備について

鈴木副市長答弁（財政局資産総務部新庁舎課）
A 29年度は新庁舎の基本設計を取りまとめ、新庁舎整備調査特別委員会から提出された「新庁舎整備の進め方に関する要望書」の趣旨を踏まえ、新庁舎整備に着手する方針について決定しました。決定後は、総合防災拠点として機能する新庁舎の必要性について市民との対話やシンポジウムを通じて説明に努めて参ります。基本設計では、発災時に迅速・適切に災害対応業務を開始でき、新庁舎が災害対策の司令塔として機能するよう非常時の業務継続性をコンセプトの一つとして設計しました。災害時の情報収集・分析発信のための危機管理センターを整備すること、建物等を基礎免震構造に地震に耐え得ることも業務機能を維持できること、72時間は災害対応業務の継続が可能とすること、高潮等の浸水対策として危機管理センターや非常用発電機などがある機械室を2階以上に設置することなどを計画しております。

●今後の取組みについて

●鈴木副市長答弁

鈴木副市長答弁（財政局資産総務部新庁舎課）
A 今年度は設計と施工を一括で発注するデザインビルド方式で実施する整備事業を選定します。整備事業は各建設会社が特許を取得している建物免震の技術や、現庁舎を使いながらの近接施工における安全・騒音対策、工期の短縮など本市が求める高度な技術力を有する必要があることから、学識経験者で構成される附属機関の意見を聴き入れ価格と技術提案の両面を審査する総合評価方式にて選定することとしております。特別委員会の要望も踏まえ財源面で有利な、市町村役場機能緊急保全事業を最大限活用して2020年度までの時限措置とされている同制度の延長を国へ要望することにも、市庁舎整備基金を有効に活用すること、可能な限り一般財源の年度間の平準化を図りつつ、災害に強い新庁舎の早期供用開始に向け事業を推進して参ります。供用開始は5年後の2023年度の早期と想定しますが、スケジュール詳細は今年度末に契約する事業者の提案などを踏まえ検討して参ります。

市民行政について

●(仮称)千葉公園体育館の整備について

●現在の千葉公園体育館の整備状況の進捗について

●鈴木副市長答弁

鈴木副市長答弁（市民生活文化スポーツ部スポーツ振興課）
A 今年度は昨年度策定した「(仮称)千葉公園体育館整備基本計画」に基づき、基本設計の策定を行っているところで、5月に簡易公募型プロポーザル方式による公募、6月に技術提案書によるアリテックをい、受託事業者を選定後、7月に業務委託契約を締結しました。今後は関係団体や関係部署と調整を図り、頂いたご意見を可能な限り反映させながら基本設計の策定に取り組んで参ります。

●千葉公園水泳プールの改修について

●鈴木副市長答弁

鈴木副市長答弁（市民生活文化スポーツ部スポーツ振興課）
A 大会運営に支障を来さぬよう、飛び込み台やスリッパ等の改修を行うなど、修繕を適宜行い、円滑な管理運営に努めているところです。建築から50年以上が経過し施設の老朽化が著しい状況であり、大規模な修繕の必要性も認識していることから、千葉公園水泳プールの再整備について関係部署と協議を進めて参ります。

パートナーシップ制度について

●今回の市の制度と民法に定める婚姻制度との関係をどのように考えているのか

●市長答弁

市長答弁（市民生活文化スポーツ部参画課）
A 制度の趣旨は、どのような立場や境遇の方々も不利益を被らず、安心して暮らすことができるよう行政として平等に支援を行おうとするものです。LGBTの方々が、現在一定の範囲で権利を認められているものの事実婚姻のように様々な事情で婚姻をしない方々の「パートナー」との関係を社会的に認知されたい」という気持ちに寄り添うため、LGBTに限らず、すべての方々を制度の対象としたものです。婚姻制度は慎重な議論のもと国が法律により定める制度であるため、何らかの提起を行うことは考えておりませんが、要綱に基づいた法的な効力はありません。市の施策における活用や市民、民間事業者への周知、啓発など、パートナーシップを形成した方々が感じる不利益を支える限り軽減できるような制度を活用した支援を進め、誰もが自分らしく生き活きと暮らしている環境づくりを進めて参りたいと考えて参ります。

保健福祉行政について

●国民健康保険事業の累積赤字の解消と今後の国保財政について

●累積赤字をどのように解消してきたのか

●市長答弁

市長答弁（保健福祉局健康部健康保険課）
A 国保財団は平成19年度以降、累積赤字を抱え財政健全化が大きな課題であったことから収支改善を目指し、平成24年に国保財政健全化に向けたアクションプランを策定しました。保険料の適正な賦課及び収納率向上などの歳入確保と、ジェネリック医薬品の利用促進・医療費適正化のための保健事業充実など歳出抑制の取組みを推進し、収支改善に努めました。一般会計からの繰入金や公費拡充の効果などにより11年ぶりに累積赤字を解消することができました。

●国保財政は健全化したのか、今後の国保財団はどのように財政運営を進めていくのか

●市長答弁

市長答弁（保健福祉局健康部健康保険課）
A 30年度当初予算で収支不足の繰入れがなく、被保険者より徴収した保険料や法定の公費などで歳出を賄うこととなり累積赤字も解消したことから、財政運営

画上のあべき姿になったと考えています。被保険者は高齢者が多く医療費の高化などで医療費が増加し今後大変厳しい財政運営が見込まれることから、2018年度から2021年度を計画期間とする第3期アクションプランに基づき、歳入確保と歳出抑制の取組みを進めて参ります。国保財政の基盤を安定化させるため、今後も更なる財政支援について国に要望して参ります。

子ども未来行政について

高学年の子どもルーム利用について

●高学年ルームの運営にあたっての課題について

市長答弁 子ども未来局 子ども未来部健全育成課

A 高学年ルームは図書室などの特別教室を学校と共用して運営しておりますが、おやつや保管場所が確保できないことや横になってくつろぐことができないといった状況があります。多くの3年生を収容し受け入れられている現状があります。学校の日課によっては使用できない時間帯があり、解消が課題となっております。

●高学年ルームの今後の方針について

市長答弁 子ども未来局 子ども未来部健全育成課
【教育委員会教育政策部企画課】

A 施設面、運営面における問題を解消するため、本年7月に子どもルーム待機児童解消のための緊急3か年アクションプランを策定したところであり、対策の一として高学年ルームの保育環境の改善を図って参ります。今後3年間で12か所、余給教室の改修や子どもルームの増設等を行い、低学年も受け入れ可能な子どもルームの専用スペースを確保して参ります。教育委員会と密接な連携を図り、余給教室等を活用し、特別教室利用の解消を図って参ります。

建設行政について

東京方面への新たなインターチェンジについて

●インターチェンジの設置について

市長答弁 建設局道路部道路計画課

A 本市を通る東関東自動車道から東京方面へアクセスするインターチェンジは内陸部にある千葉北インターチェンジの1箇所となっており、湾岸部からはアクセスしにくい状況となっております。商業が集積する千葉都心や工業・物流施設が集積する千葉港などの湾岸部から東関東自動車道の東京方面にアクセスするには国道357号を經由し市域外の湾岸習志野インターチェンジまでいく必要があり渋滞も見受けられ多くの時間を要します。東関東自動車道にいち早く流入できる東京方面への新たなインターチェンジの設置は移動時間の短縮や定時制の確保による物流の効率化などの観点からも有効な施策と考えられます。

●今後の取組について

市長答弁 建設局道路部道路計画課

A インターチェンジ設置には広域的な観点から土地利用、産業施策、交通動向などについて調査し、構造や費用対効果などの検討が必要となります。今年度、交通動向などの調査に着手することとしております。調査を基に建設や管理コストの削減が可能なETC専用のスマートインターチェンジも含め、国土交通省のほかNEXCO（ネクスコ）東日本とインターチェンジの設置に向け協議・調整を進めて参ります。

水道行政について

●今後の経営方針について

服部副市長答弁 水道局水道総務課
【水道局水道事業課事務所】

A 効率的な更新を実施していくため、平成29年度から「千葉市水道事業長期施設整備計画」

【議会】

・議会運営委員会委員長
・環境経済委員会委員
・自民党市議団幹事長

【地域活動】

・千葉市ハンドボール協会会長
・千葉市相模連盟顧問
・千葉市花見川区サッカー協会会長
・千葉ネオライオンズクラブメンバー
・花見川区倫理法人顧問
・花見川区少年軟式野球連盟顧問
・自衛官募集相談員
・横橋小地区スポーツ振興会会長

岩井まさお

平成30年度の役職



6月27日 幕張東小学校 ブロック塀を視察



夏場の教室を視察
(市内小学校にて)

画の策定に着手したところであり平成30年度末のとりまとめを目的に作業を進めております。給水区域における将来の水需要予測を行ったうえで、施設の重要度、老朽度、耐震性など長期的な観点から更新の時期や規模の見直しを行い、計画的な更新に努め費用の平準化を図るものであり、計画に基づき事業を推進すること、一般会計からの繰入金による限りの抑制して参ります。現在の経営状況の抜本的解決に向け、より具体的な案を提示し、県水道局との事業統合や未活用水源の活用方策などについて積極的に県と協議を進めて参ります。

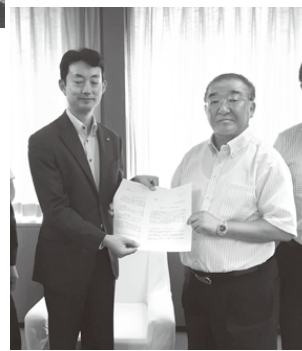
【所感】ご答弁ありがとうございます。基本的な考え方はおおむね理解しました。詳細につきましては、このあと開催される決算審査特別委員会及び分科会におきまして審査、確認を行っていくこととして、2回目は所感を述べさせていただきます。

【平成29年度決算について】
国民健康保険事業の累積赤字が解消されたといはれ病院事業の累積欠損金は拡大しており基金借入残高などの債務も依然多額です。財政状況は依然として厳しいものと考えますので、財政健全化に向けた取組みをしっかりと進めていただきたいと考えます。

【小中学校の普通教室へのエアコン整備について】
我が会派は、エアコンの整備についてこれまで何度も市長に要望してまいりました。今回、2020年度の設置完了を目指すとの答弁をいただいたのは大きな前進と考えます。検討すべき事項が数多くあると思いますが、児童生徒の健康や学習環境を第一に考え、可能な限り早急に設置することが必要です。学校の体育館は、災害時には避難所となる施設ですので防災部局や教育委員会が連携して、体育館へのエアコン設置についても研究が必要と考えます。

【国保事業の累積赤字の解消と今後の国保財政について】
累積赤字を解消したといっても次の決算で赤字発生では意味がありません。国保財政の基盤を強固にしていける取組みが重要です。国に対し財政支援の要望を行うのも重要ですが、本市として国保財政が安定化し持続可能なものとなるよう基盤強化を図ることが必要と考えます。

【小学校高学年の子どもルーム利用について】
特別教室を利用した高学年ルームは、図書室が一番多く、横になってくつろげない等、不便な状況にあるとのことでした。音楽室は机もなく、床もカーペット敷きであることが多く、エアコン整備も順次進められているところであり、児童が放課後過ごす場所として適してお



7月18日 小中学校普通教室へのエアコン設置申し入れ



7月22日 横橋地域福祉交流館にて流しそめんに参加



8月4日 さつきが丘夏祭りに参加

りますので、しっかりと教育委員会と連携を図りながら、音楽室の利用も進めていくことを期待します。

【水道事業について】
水道事業はライフラインの要ですが、あまりにも事業効率が悪いと言わざるを得ません。我が会派は、かねてよりスケールメリットを生かした経営改善のため、県水道局との事業統合が最善策であると提案して参りました。我が自由民主党の県議会議員も、6月定例県議会にて千葉市水道事業についての県の対応に関する一般質問を行ったり、千葉県水道事業の審議会で見解を述べるなど、積極的に働きかけを行っており、県議・市議で連携してこの問題に取り組んでおります。

当局においても、経営改善を着実に進め、県水道局との事業統合に向け県と交渉を進めることが必要と考えます。

以上、所感を申し上げましたが、自由民主党千葉市議会議員団は本市のさらなる発展と97万市民のより豊かな暮らしの実現を目指し、力を尽くしてまいりますことを申し上げ、代表質疑を終わらせていただきます。長時間にわたる御清聴ありがとうございます。

ご意見・お問合わせは
こちらにお寄せください

ホームページは→ <http://iwai11.com/>
e-mailは→ iwaimasao@iwai11.com

TEL. 043-259-2777
FAX. 043-259-2777